



盛岡市プレスリリース

～ 輝きが増し 活力に満ち 夢をかなえるまち盛岡 ～

令和7年7月11日
盛岡市教育委員会
生涯学習課

市政記者クラブ加盟社 各位

令和7年度盛岡市・うるま市中学生交流事業

盛岡市では、平成24年に友好都市提携を結んだ沖縄県うるま市に、7月24日から4日間にわたり、盛岡市内の中学生10名を派遣することとしています。盛岡市内の中学生がうるま市を訪問する派遣事業は、コロナ禍の中止等をはさみ、今年度で11回目となります。

そこで、派遣事業に先立ち、次の日程により、結団式を事前研修中に執り行います。

つきましては、中学生が決意を表明する場でもありますので、当交流事業を実り多いものとするために、その様子について取材をお願いいたします。

記

【日 時】 令和7年7月19日（土） 午前10時40分～11時05分

【場 所】 盛岡市役所 都南分庁舎4階大会議室（盛岡市津志田14-37-2）

【内 容】 裏面次第のとおり

【研修生】 盛岡市内の中学2年生 10名

【出席者】 盛岡市・うるま市中学生交流事業実行委員会会長（盛岡市教育部長）
生涯学習課課員 5名

【主 催】 盛岡市・うるま市中学生交流事業実行委員会
（盛岡市教育委員会 生涯学習課内）

【その他】 交流事業の詳細は別紙実施要項を御確認ください。

【問い合わせ先】

盛岡市教育委員会 生涯学習課 社会教育係
担当：和田（わだ）
TEL：639-9046 FAX：639-1516

盛岡市・うるま市中学生交流事業派遣団員結団式次第

1 日 時 令和7年7月19日(土) 10時40分～11時05分

2 場 所 盛岡市役所 都南分庁舎4階大会議室

3 出席者

【派遣団員】

団 長	みうら としひろ 三浦 宗裕	岩大附属中	副団長	かくた かおるこ 角田 香子	下橋中
副団長	ただ あいり 多田 愛唯莉	岩大附属中	団 員	おかざき さえ 岡崎 紗瑛	城東中
団 員	くじ かなえ 久慈 奏恵	白百合学園中	団 員	くどう りいな 工藤 梨愛	乙部中
団 員	さとう みく 佐藤 美玖	下橋中	団 員	しまむら ゆり 島村 優里	土淵中
団 員	たぐち かのん 田口 奏音	土淵中	団 員	はたなか りょう 畑中 遼	玉山中

【盛岡市・うるま市中学生交流派遣事業実行委員会】

会長	下田 法子	(盛岡市教育委員会事務局 教育部長)
事務局員	津久井絵理子	(盛岡市教育委員会事務局 生涯学習課 副主幹兼社会教育係長)
事務局員	和田 爽平	(盛岡市教育委員会事務局 生涯学習課 社会教育係主事)
事務局員	遠藤 耕生	(盛岡市教育委員会事務局 生涯学習課 社会教育指導員)
事務局員	今野 洋明	(盛岡市教育委員会事務局 生涯学習課 社会教育指導員)
事務局員	上北田美香子	(盛岡市教育委員会事務局 生涯学習課 社会教育指導員)

4 内 容

- (1) 開式
- (2) 団員・引率者紹介
- (3) 団長あいさつ
- (4) 実行委員会長から激励のことば
- (5) 記念撮影
- (6) さんさ踊り披露
- (7) 閉会

令和7年度 盛岡市・うるま市中学生交流事業 実施要項

1 事業概要

(1) 目的

盛岡市とうるま市双方の中学生が、交流を通じて両市の歴史・文化や生活習慣、自然環境に直接触れる体験学習を行うことで地域や文化への理解を深めることにより、広い知見と豊かな情操を備えた人材の育成を図る。

(2) 主催

盛岡市・うるま市中学生交流事業実行委員会

(3) 対象（予定）

盛岡市の中学校2学年生徒 10名

※本番研修（7/24～27、12/21～22）、事前・事後研修（6/28、7/12、7/19、8/30、11/15、11/29、12/6、12/13）の全てに参加できることを応募の要件としています。

2 派遣事業実施概要

(1) 派遣実施日

令和7年7月24日（木）から同月27日（日）まで 3泊4日

(2) 宿泊場所

沖縄県立石川青少年の家

（うるま市石川 3491-2 TEL098-964-3263）

(3) 日程及びプログラム（変更の場合あり）

月 日	日程概要	実施プログラム	プログラムのねらい
7月24日（木）	うるま市への移動 及び施設見学	沖縄県立博物館・ 美術館見学	・沖縄の歴史及び伝統文化を学習する。
7月25日（金）	うるま市中学生と の交流（1日目）	両市中学生対面式 ・自己紹介 ・アイスブレイク	・両市中学生の自己紹介等を行い、 心理的距離感を縮め今後の活動を 円滑にする。
		研究発表	・うるま市生徒による伝統文化・歴 史文化等の研究発表や、それにつ いての両市生徒による意見交流を 通じて、生徒間の交流とうるま市 生徒の研究課題の達成を図る。
		平和学習①（講話）	・沖縄の戦後史について学び、平和 の大切さについて学習する。
		うるま市内フィー ルドワーク	・事前に調査したうるま市内を散策し、 うるま市の歴史や文化について、理 解を深める。

日付	日程概要	実施プログラム	プログラムのねらい
7月26日（土）	うるま市中学生との交流（2日目）	闘牛観戦	・うるま市の伝統文化を見学し、理解を深める。
		海洋体験	・うるま市の自然を学習するとともに、生徒間の交流を深める。
		さよならパーティー	・相互に文化交流活動を披露し生徒間の交流を深める。
7月27日（日）	施設見学及び盛岡市への移動	首里城見学	・再建中の施設を見学し、沖縄の歴史及び文化について理解を深める。

(4) 事前・事後研修

事業効果を高めるため事前研修を行う。

ア 内容

- ・沖縄の自然・歴史・文化・生活等について学び、知識を広める。
- ・派遣事業終了後に報告書を作成し、振り返りを行う。

イ 日程

研修会	回	日時	場所
事前	第1回	6月28日（土）9時30分～12時30分	盛岡市市役所 都南分庁舎 4階大会議室
	第2回	7月12日（土）9時30分～15時30分（休憩1時間）	
	第3回	7月19日（土）9時30分～12時30分	
事後	第4回	8月30日（土）9時30分～12時30分	

3 受入事業実施概要

(1) 受入事業実施日

令和7年12月21日（日）から同月22日（月）までの1泊2日

※うるま市中学生は、令和7年12月20日（土）から23日（火）までの3泊4日

(2) 宿泊場所

国立岩手山青少年交流の家 （滝沢市後 292 TEL019-688-4221）

(3) 日程プログラム（変更の場合あり）

日付	日程概要	実施プログラム	プログラムのねらい
12月21日（日）	うるま市中学生との交流 （1日目）	対面式	・再開を喜び、交流の意欲を高める。
		研究発表と意見交流	・盛岡市生徒による伝統文化や歴史文化等の研究発表や、それについての両市生徒による意見交流を通じて、生徒間の交流と盛岡市生徒の研究課題の達成を図る。
		防災学習	・東日本大震災について学び、防災の重要性を考える。
		市内散策（フィールドワーク）	・生徒自らがガイド役となって市内のPRポイントを散策し、うるま市生徒に盛岡市の文化・歴史等を理解してもらう。
		歓迎交流会（わんこそば体験）	・盛岡の食文化を共に体験し、生徒間の交流を深める。
12月22日（月）	うるま市中学生との交流 （2日目）	雪上体験	・岩手の自然を生かした体験学習を通して、生徒間の交流を図る。
		お別れ交流会	・相互に文化交流活動の成果を披露するとともに、両市の生徒間交流の絆を確かめ合う。

(4) 事前研修

事業効果を高めるため事前研修を行う。

ア 研修内容

- ・自分たちの郷土である岩手県と盛岡市の魅力を、うるま市の生徒に紹介できるように研修を深める。
- ・沖縄の自然・歴史・文化・生活等について学び、知識を深める。

イ 日程

回	日時	場所
第1回	11月15日（土）9時30分～15時30分（休憩1時間）	盛岡市市役所都南分庁舎
第2回	11月29日（土）9時30分～15時30分（休憩1時間）	盛岡市立中央公民館
第3回	12月6日（土）9時30分～15時30分（休憩1時間）	盛岡市立中央公民館
第4回	12月13日（土）9時30分～12時30分	盛岡市市役所都南分庁舎

4 事業参加生徒の募集について

(1) 要件

- ア 盛岡市に住所を有し、市内の中学校2学年に在籍する生徒
- イ 事前研修・本番研修及び事後研修の全てに参加できる生徒

・事前及び事後研修（全8回）の全てに参加できることを応募の要件としておりますので、別途記載の開催日程について確認してください。

・部活動等の大会や校内テストが近くなる学校もあると存じますが、原則として、当事業のプログラムを優先して参加していただく必要があります。

- ウ 本事業の目的を理解し、他者と協力して有意義な親善交流及び研修を行おうとする意欲を持っている生徒
 - エ 沖縄県及び郷土盛岡市・岩手県の歴史、文化等に興味・関心がある生徒
 - オ 健康状態が良好である生徒
- ※ 応募に当たっては、保護者や学校の先生方の意見を十分参考にすること。

(2) 方法

参加申込・保護者同意書、作文及び学校活動等実績報告書各1部を実行委員会事務局（生涯学習課）に提出する。参加申込書等の様式は、各学校で希望者に配布する。

(3) 期限

令和7年5月16日（金） ※実行委員会事務局（生涯学習課）必着

(4) 参加経費

- ア 参加負担金 派遣旅費の半額（航空運賃により変動する可能性がある。概ね5万円前後）
雪上体験で、ウェアをレンタルする場合はレンタル代（概ね6千円前後）
- イ 参加決定通知を受けた中学生の保護者は、後日発送する文書により期日までに参加負担金を
指定口座へ納入するものとする。なお、振込手数料は振込者の負担とする。また、納入した
参加負担金については原則返還しないものとする。

(5) 参加者の決定

作文及び学校活動等実績報告書の内容を審査し、実行委員会（教育委員会）が決定する。
参加者は最大で10名とし、同一校から複数の参加応募があった場合の参加者決定は、一校につき2名までとする。選考結果は、応募者全員及び学校長あて5月下旬に通知する。

友好都市提携の経緯

盛岡市とうるま市は、平成19（2007年）年4月から放送された盛岡市が舞台のNHK連続テレビ小説「どんど晴れ」のヒロインを演じた比嘉愛未さんが沖縄県うるま市の出身であることから交流が始まり、平成24（2012）年7月に両市の友好都市提携を結んだ。

5 これまでの経緯

平成 19 年 4 月～9 月	NHK連続テレビ小説「どんど晴れ」放送 ヒロイン 比嘉愛未さん（うるま市出身）
平成 24 年 7 月 31 日	盛岡市とうるま市が友好都市提携
平成 24 年 12 月	盛岡市から 1 回目の中学生派遣
平成 25 年度	派遣事業のほか、受入事業も開始
平成 26 年度	実行委員会形式開始 盛岡市が実行委員会へ負担金支出
令和元年度	8 回目の派遣、7 回目の受入
令和 2～4 年度	新型コロナウイルス感染防止のため、派遣・受入中止 ※令和 4 年度は市内で友好都市 10 周年記念事業実施
令和 5 年度	9 回目の派遣、8 回目の受入
令和 7 年度	11 回目の派遣、10 回目の受入

【問い合わせ先】

盛岡市・うるま市中学生交流事業実行委員会
（盛岡市教育委員会事務局 生涯学習課内）

担当：和田（わだ）

電話：019-639-9046